

第15回

in 静岡
プラットフォーム
公開憲法日本の未来を
守りたいいま私たちに
できること我が国の安全と
「憲法」のあり方について
一緒に考えてみませんか？

中国、北朝鮮、ロシアの存在は、我が国の安全保障上の脅威であり続けています。あらゆる有事に直面したとき、この先も、いまの憲法や法律のまま、私たちの「いのち」と「暮らし」を守ることはできるのでしょうか。「日本の未来を守る」ために、いま私たちにできることは何かを皆さんとともに考えて参ります。

令和8年(2026)
8.31
参加無料オークラアクトシティホテル浜松
「4階 平安」先着募集
400名

JR浜松駅東口より直結徒歩3分

18:00-(開場17:00)

- 先着400名とさせていただきます、定員となり次第締め切りといたします。
- お申し込みいただいた方には、あらかじめ入場ハガキを送付させていただきます。

第1部 基調講演

演題 「激動する国際情勢と我が国の安全保障」 講師 高田 克樹氏

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 田北 真樹子氏 パネリスト 江崎 道朗氏、高田 克樹氏

登壇者のご紹介

産経新聞東京編集局編集長
田北 真樹子氏

平成8年産経新聞社入社。前橋支局・外信部などを経て12年から政治部。21年にニューデリー支局長。「歴史戦」取材班で慰安婦問題などを取材した後、政治部官邸キャップ。令和元年から6年まで月刊『正論』編集長を務める。7年10月から現職。『毛沢東の兵、海へ行く』(扶桑社)の日本語訳を担当した。

昭和37年、東京都生まれ。九州大学卒業後、国会議員の政策スタッフなどを務め、安全保障やインテリジェンス、近現代史研究に従事。産経新聞「正論」欄執筆メンバー。国家基本問題研究所企画委員。オンラインサロン「江崎道朗塾」主宰。令和5年、フジサンケイグループ第39回「正論大賞」受賞。主な著書に『緒方竹虎と日本のインテリジェンス』(PHP研究所)ほか多数。

麗澤大学特任教授
江崎 道朗氏

昭和38年、広島県生まれ。昭和60年防衛大学校を卒業後、陸上自衛隊に入隊。第71戦車連隊長、第2師団長、陸上幕僚副長、東部方面総監を経て令和元年より陸上総隊司令官を務め、同年台風19号の被害に際し、陸上総隊司令官として初の統合任務部隊(JTF)司令官に任命され陸海空3万1千名の部隊を指揮した。令和2年に退官され、現職に至る。

日本戦略研究フォーラム政策提言委員
元陸上総隊司令官
高田 克樹氏

会場内

オークラアクトシティ
ホテル浜松
「4階 平安」

浜松市中央区板屋町111-2

電車でお越しの方

JR浜松駅「東口(メイワン口 2階)」から直結の連絡通路(アクトシティ方面)を経由し徒歩3分

※東海道新幹線をご利用の方は在来線乗換え口を通過してください。
※EX-ICカードをご利用で交通系ICカードをお持ちでない方は「メイワン改札口」を通り抜けできません。1階「新幹線改札口」をご利用ください。

※ご来場にはできる限り公共交通機関をご利用ください



申込方法

メール protectjapan0831@jinjahoncho.or.jp
より申し込む

- ① 右記のQRコードより「メール作成画面はこちら」をタップ
 - ② 必要情報(下記内容)をご入力の上、メールを送信する
- 氏名(ふりがな) ●年齢 ●郵便番号・住所 ●電話番号
 - 本フォーラムをお知りになったきっかけ

※同伴の方がいる場合はその方の氏名等もご記入ください。
※お申し込みを戴いた方には後日、入場ハガキをお送りさせていただきます。

お申し込み締め切り
令和8年8月30日(日)

締め切り直前にお申し込みの方で、当日までにお手元に入場ハガキが届かない場合は、そのまま会場にお越しいただき受付でお名前をお申し出ください。

主催

協力

後援

神道政治連盟 神社本庁 静岡県神社庁、神道政治連盟静岡県本部、全国神社総代会、日本会議静岡、美しい日本の憲法をつくる国民の会